

基本 目標	基本 施策	施策 №	具体的な施策 (事業名)	担当課名	平成26年度の計画	平成26年度事業実績
					事業の具体的内容	事業の具体的内容
2 エ	1 地域社会全体で子育て家庭を支援する仕組みづくり	1	子育て支援センター事業	子育て支援課	<p>上の原・竜南・富県・美郷の4センターの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録利用料市内200円、市外400円 ・育児用品などのリサイクル交換会を行う（富県・美郷） <p>出張子育て支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援センターがない西箕輪・西春近で未就園児を対象に月2～3回親子の遊びや育児相談等を提供する。 <p>すくすくBaby（1歳前子ども対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センター・境ふれあい館・西箕輪公民館・美郷きらめき館・小出一区公民館・富県子育て支援センターで、親子の遊びや育児相談等を提供する。 	<p>①上の原・竜南・富県・美郷の4センターの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録料 469, 400円 利用状況 延23,719人 <p>②出張子育て支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 西箕輪 延769人・西春近 延224人 <p>③すくすくBaby（1歳前子ども対象）</p> <p>境公民館・保健センター・西箕輪公民館・美郷公民館・小出一区公民館・富県子育て支援センター、高遠保健センターに出向き、親子の遊びや育児相談を行った。</p>
		2	ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	<p>会員相互の地域での助け合いの託児等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に協力会員事前講習会を開催し会員増を図る。 ・スキルアップ研修会開催 	<p>会員相互の地域での助け合いの託児等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5～6月に事前講習会を開催。7人の協力会員増 ・スキルアップ研修会開催（10月28日開催） <p>活動件数：674件</p>
		3	子育てサポーター事業	子育て支援課	<p>ボランティアで子育て支援をしてくれる人を募集し養成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に養成講座を開催しサポーター養成する。 ・スキルアップ研修会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・5～6月に養成講座を開催し子育てサポーターを新規に9人養成した。 ・スキルアップ研修会（10月28日開催） <p>依頼件数：延145件、活動人数：延184人</p>
		4	子育てサークル等の拡充	子育て支援課 健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てガイドブックで子育てサークルを紹介する。 ・乳幼児健診や乳児訪問時に必要な親子に子育てサークルを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度子育てガイドブックを作成し子育てサークルを紹介した。

基本 目標	基本 施策	施策 №	具体的な施策 (事業名)	担当課名	平成26年度の計画	平成26年度事業実績
					事業の具体的な内容	事業の具体的な内容
子育て家庭を支援する仕組みづくり		5	子育て学級	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> 市内9公民館で子育て学級を開催する。 公民館の子育て学級や保育園のふれあい保育で保健師による子育て講話を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市内9公民館全てで子育て学級を開催した。 公民館の子育て学級や保育園のふれあい保育で保健師による子育て講話を実施した。
		6	子育てサークルや団体への支援	子育て支援課 健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> 特技を持った子育てサポーターによる活動支援及びファミリー・サポート・センター協力会員による活動の託児 育児サークル「さくらんぼの会」等で育児講話を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 育児サークル「さくらんぼの会」の活動に、子育てサポーターを派遣した。 育児サークル「さくらんぼの会」等で、リサイクル会、おやつ作り、育児講話を実施した。
		7	地域子育て支援ネットワーク連絡会	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサークル・子育て支援団体との連携や情報交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度子育てガイドブックを作成し子育てサークルを紹介した。
		8	ながの子育て家庭優待パスポート事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 昨年に引き続き、事業者募集と転入者などの新規加入者にカードを発送する。 パスポート事業周知や紛失時に再発行できることなどの広報を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 転入者などの新規加入者へのカード発送及び紛失時の再発行を行った。(協賛店：全県3,423件、市90件)
2 経済的な支援の仕組み		1	児童手当	子育て支援課	中学校終了前の児童を養育している人に支給 <ul style="list-style-type: none"> 支給額 3歳未満 月15,000円、3歳以上小学校終了前(第1子・2子) 月10,000円(第3子) 月15,000円、中学生 月10,000円 	<ul style="list-style-type: none"> 支払6月、10月、2月。 支給額(2月支払含) 総額：1,176,250千円(延支給人数 3歳未満：17,956人、小学校修了前：65,421人、中学校：21,703人、施設等：432人)
		2	助産施設への入所	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 経済的理由により入院助産を受けることが出来ない妊産婦に対し中央病院に入院助産委託する。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施なし
		3	子育て支援短期利用事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 一時的(1回利用が7日間まで)に保護者が養育を行うことが困難である時、児童養護施設「たかずやの里」に宿泊委託する。 たかずや福祉会の運営に対する支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童養護施設「たかずやの里」に宿泊委託した。(6家庭8人の幼児・児童が利用)

基本 目標	基本 施策	施策 №	具体的な施策 (事業名)	担当課名	平成26年度の計画	平成26年度事業実績
					事業の具体的内容	事業の具体的内容
		4	遺児等福祉金	子育て支援課	・父又は母が死別、重度障害となった18歳未満の児童を養育する保護者に児童1人年額14,000円を支払う。(8月)	・110人に支払
		5	保育園保育料軽減	子育て支援課	・同一世帯から2人以上が同時に保育園に通園する場合、2人目にあたる園児は半額、3人目以降の園児は無料とする。(平成21年度より実施)	・2人目 半額 362人 3人目以降無料 23人
		6	幼稚園保育料等軽減	学校教育課	・幼稚園の入園料、保育料金(授業料)を減免した幼稚園に、幼稚園就園奨励費補助金を交付する。	・122件 15,583千円
		7	子どもの医療費助成	健康推進課	・就学前児童及び小中学生の入通院医療費の助成を行う。	・66,346件 103,495,704円支給
		8	私学助成	学校教育課	・幼児教育の振興を図るため、市内の3私立幼稚園に対し運営費の補助を行う。 ・私立高校の運営費補助を行う。	・私立幼稚園(3園)運営費補助 定額補助額 750,000円×3園 園児数割補助額 @18,000×89人 合計額 4,932千円 ・伊那西高等学校運営費補助 定額補助額 600,000円 生徒割補助額 @2,600×190人 合計額 1,094千円
		9	就学援助	学校教育課	・経済的に援助が必要な小学校及び中学校に就学する児童生徒の保護者に対して、就学に関わる費用の一部を補助する。	・要保護準要保護家庭 650人 (全児童生徒10.8% 支出見込み 53,000千円)
		10	高校生通学費補助 (過疎対策)	学校教育課	・高遠町地区、長谷地区から高等学校に通学する生徒の通学費の一部(高遠町地区、長谷地区から伊那市駅、伊那北駅までのバス定期代金1/10の金額)を補助する。 ・高遠高等学校振興会が行なう、高遠高等学校に通学する生徒のバス通学費補助事業の費用を負担する。	・高遠高校振興会遠距離通学補助分負担 1,600千円 ・高遠町・長谷地区高校生通学補助 見込み 125人 2,574千円

基本 目標	基本 施策	施策 №	具体的な施策 (事業名)	担当課名	平成26年度の計画	平成26年度事業実績
					事業の具体的な内容	事業の具体的な内容
2 子育て家庭を支援する仕組みづくり	3 家庭生活と職業生活の両立	1	男女共同参画社会の啓発	企画情報課	<ul style="list-style-type: none"> ・市報特集号 2月 ・有線放送 毎月 ・ケーブルテレビ 随時 ・おでかけ講座「男女共同参画にむけて」の開催 ・啓発用紙芝居、かるたの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・市報特集号(2月)で地区役員経験者、推進団体等の声の掲載と、有線放送(毎月)による啓発を行った。 ・男女共同参画に関する川柳・絵手紙を募集し展示や市報掲載等での啓発に活用した。
		2	女性のための相談室	企画情報課	<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談:平日 ・面接相談:(要予約)毎週火、木曜日午前9時～午後5時 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性相談員による女性のための相談室を開設し、保健師等関係者との連携に努めて支援を行った。また、相談員の資質を高めるため積極的に各種研修に参加した。
		3	男と女いきいきセミナー	企画情報課	<ul style="list-style-type: none"> ・7月から10月までの年3回開催 講師:あいとぴあ所長、鶴ヶ島市職員ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「なぜ男女共同参画が必要なのか」61人 ・男女共同参画落語&ワークショップ「りぷろだくていぶ・へるす/らいつ」48人 ・県と共催「防災に必要な男女共同参画の視点」ワークショップ43人
		4	伊那市民のつどい	企画情報課	<ul style="list-style-type: none"> ・11月9日(日)伊那市多目的ホール13時30分から 本年度から女性団体連絡協議会と共催事業とする。 	伊那市民のつどいを男女共同参画推進会議委員と女性団体連絡協議会で実行委員を組織し、11月9日(日)市役所多目的ホールで市民を対象に開催した。(参加者165人)

基本 目標	基本 施策	施策 №	具体的な施策 (事業名)	担当課名	平成26年度の計画	平成26年度事業実績																							
					事業の具体的内容	事業の具体的内容																							
4 多様なニーズに合わせた保育サ	5	事業者への啓発活動	商工振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産・育児に対する企業の理解を深めるため、企業訪問の際に関連パンフレットを配布し啓発に努める。 ・ 商工関係団体へワークライフバランス推進セミナー等の開催情報について周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産、育児等ワーク・ライフ・バランスに対する企業の理解を深めるため、企業訪問により124社に対し関連冊子を配布し啓発を行った。 ・ 南信労政事務所との共催で「労務管理改善リーダー研修会」を開催し、子育てし易い職場環境の整備について学習した。(参加者75名) 																								
				6	若者の就労促進事業	商工振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若年者の就労相談の内容に応じ、ジョブカフェ信州等を紹介する。 ・ パノラマ伊那市UIターンホームページにて情報発信を行う。 ・ 伊那商工会議所と共同し、市内事業所におけるインターンシップ推進のため、大学・短大・専門学校への訪問を行う。 ・ 地元企業就職面接会を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若年者からの就労相談の内容に応じ、ジョブカフェ信州等の専門機関を紹介した。 ・ パノラマ伊那市UIターンホームページにて情報発信を行った。(直近1年2,241アクセス) ・ 伊那職業安定協会と連携し、信州大学農学部、工学部・東京電機大学の就職担当者を訪問し、地元企業への就職について懇談を行った。 ・ 年3回開催された地元企業就職面接会を支援した。 ・ 若年者の就労関係情報チラシの全戸回覧を年2回実施した。 																					
	①-1	延長保育事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内24園中、24園で実施 <table border="0"> <tr> <td>朝7:30～8:00</td> <td>夕16:00～18:00まで</td> <td>10園</td> </tr> <tr> <td>朝7:30～8:00</td> <td>夕16:00～18:30まで</td> <td>8園</td> </tr> <tr> <td>朝7:30～8:00</td> <td>夕16:00～19:00まで</td> <td>5園</td> </tr> <tr> <td>朝7:00～8:00</td> <td>夕16:00～19:00まで</td> <td>1園</td> </tr> </table>	朝7:30～8:00	夕16:00～18:00まで	10園	朝7:30～8:00	夕16:00～18:30まで	8園	朝7:30～8:00	夕16:00～19:00まで	5園	朝7:00～8:00	夕16:00～19:00まで	1園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内24園中、24園で実施 <table border="0"> <tr> <td>朝7:30～8:00</td> <td>夕16:00～18:00まで</td> <td>10園</td> </tr> <tr> <td>朝7:30～8:00</td> <td>夕16:00～18:30まで</td> <td>8園</td> </tr> <tr> <td>朝7:30～8:00</td> <td>夕16:00～19:00まで</td> <td>5園</td> </tr> <tr> <td>朝7:00～8:00</td> <td>夕16:00～19:00まで</td> <td>1園</td> </tr> </table>	朝7:30～8:00	夕16:00～18:00まで	10園	朝7:30～8:00	夕16:00～18:30まで	8園	朝7:30～8:00	夕16:00～19:00まで	5園	朝7:00～8:00	夕16:00～19:00まで	1園
	朝7:30～8:00	夕16:00～18:00まで	10園																										
	朝7:30～8:00	夕16:00～18:30まで	8園																										
朝7:30～8:00	夕16:00～19:00まで	5園																											
朝7:00～8:00	夕16:00～19:00まで	1園																											
朝7:30～8:00	夕16:00～18:00まで	10園																											
朝7:30～8:00	夕16:00～18:30まで	8園																											
朝7:30～8:00	夕16:00～19:00まで	5園																											
朝7:00～8:00	夕16:00～19:00まで	1園																											
①-2	一時保育事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内6園で実施 <p>上の原保育園、竜南保育園、高遠第1保育園、伊那保育園(私立)、つくしんぼ保育園(私立)、敬愛保育園(私立)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内6園で実施した。公立保育園 利用者数 106人 																									

基本 目標	基本 施策	施策 №	具体的な施策 (事業名)	担当課名	平成26年度の計画	平成26年度事業実績
					事業の具体的な内容	事業の具体的な内容
2 子育て家庭を支援する仕組みづくり	「ピスの充実	①-3	地域活動事業	子育て支援課	・園庭開放・園開放等、各保育園にて実施 ・全保育園にて地域交流を実施 小学校・中学校・高校・高齢者クラブ・小鳩園・信州大学・地産グループ等	・園庭開放・園開放等、各保育園にて実施した。 ・全保育園にて地域交流を実施した。
		①-4	休日保育事業	子育て支援課	・平成26年12月29日から平成27年1月3日までを除く日曜・祭日の保育を実施 場所：上の原保育園	・休日保育延利用者数 198人
		①-5	病後児保育事業	子育て支援課	・病気の回復期にあるが、まだ集団保育が困難な場合に、児童を一時的に預かる。 場所：西箕輪診療所内特別保育室	・病後児保育延利用者数 3人
		①-6	幼稚園の長期休業預かり	学校教育課	・長期休業時の預かり保育を市内全3幼稚園で実施	・3園実施
		②-1	保育内容の充実	子育て支援課	・保育内容の充実を図るため、保育プロジェクトチーム、読み聞かせ推進委員会、幼保小連携推進委員会を継続し、運動あそび・食育・木育・自然体験、幼保小連携等の充実を図る。	・保育内容の充実を図るため、保育プロジェクトチーム、読み聞かせ推進委員会、幼保小連携推進委員会を継続し、運動あそび・食育・木育・自然体験、幼保小連携等の充実を図った。
		②-2	障害児保育の充実	子育て支援課	・巡回チームによる巡回相談 ・支援保育士の研修会実施	・巡回チームによる巡回相談 28園 ・支援保育士の研修会実施
		②-3	職員の資質向上	子育て支援課	新任保育士・保育士・主任保育士・園長・給食担当者等、各研修 ・保育所障害児担当保育士研修 ・保育所子育て塾 ・トップセミナー ・保育園職員研修等実施 保育内容研究、園内研修等、多くの研修を実施し、職員の資質向上を図る。	・新任保育士・保育士・主任保育士・園長・給食担当者等の各研修を行った。 ・保育所障害児担当保育士研修 ・保育所子育て塾 ・トップセミナー ・保育内容研究、園内研修等、多くの研修を実施し、職員の資質向上を図った。

基本目標	基本施策	施策No.	具体的な施策 (事業名)	担当課名	平成26年度の計画	平成26年度事業実績
					事業の具体的内容	事業の具体的内容
5 特別な援助を要する家庭へ	基本施策	②-4	育児相談の充実	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 全保育園で育児相談を実施 相談日：毎週火曜日（休園の場合は別日） 園庭開放日等、いつでも必要なときに相談に応じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全保育園で育児相談を実施した。 相談日：毎週火曜日（休園の場合は別日） 園庭開放日等、いつでも必要なときに相談に応じた。
		②-5	食育への取組	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 各園ごと地域協働による食育活動を実施（畑作り、稲作、餅つき、クッキング等） 毎月19日「食育の日」に設定、テーマに沿った活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各園ごと地域協働による食育活動を実施した。（畑作り、稲作、餅つき、クッキング等） 各園食育計画に従い、月齢ごとの食育活動を実施。毎月の郷土食・行事食を計画的に実施した。
		②-6	地域との連携	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営委員会を中心に、地域との交流保育を全園で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営委員会を中心に、地域との交流保育を全園で実施した。
		③-1	学童クラブの充実	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 東春近小学童クラブ新築（H26・27事業） 長期休業特別学童クラブの開設 入所希望調査実施（9月）・来年度開所の検討 施設の修繕 必要備品の購入 支援学級児童の利用検討 	<ul style="list-style-type: none"> 新山小学童クラブを新たに開設した。市内全小学校に設置された。（高遠北小は人数減少により休止） 東春近小学童クラブの解体及び新築工事に着手した。 必要備品の購入、老朽箇所の修繕を実施した。 支援学級入所児童を受け入れるため補助員を配置した。
		③-2	放課後子ども教室	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 学童クラブの運営状況を見ながら検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学童クラブの運営との調整を検討しているが実施は未定。
		①-1	母子自立支援員の設置	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭支援相談室や関係機関と連携し、ひとり親家庭の相談や就労支援等自立に向けた支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 母子父子自立支援員がひとり親家庭の相談や就労支援等自立に向けた支援を行った。
	①-2	児童扶養手当	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭に対する生活の安定と自立支援のため満18歳の年度末までの児童を養育する保護者に手当を支給 支給額（所得制限あり）児童1人全部支給月額41,020円 一部支給9,680円～41,010円第2子以降加算あり 	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭に対する生活の安定と自立支援のため満18歳の年度末までの児童を養育する保護者に手当を支給 支給月 4月、8月、12月 支給額219,026千円 	

基本 目標	基本 施策	施策 №	具体的な施策 (事業名)	担当課名	平成26年度の計画	平成26年度事業実績
					事業の具体的内容	事業の具体的内容
2 子育て家庭を支援する仕組みづくり	ハの 支援	①-3	母子・父子家庭医療費助成	健康推進課	・ひとり親家庭の親子等の医療費を助成する。(所得制限あり)	・7,986件 15,443,949円支給
		①-4	高等学校生徒等通学費補助	子育て支援課	・ひとり親家庭の高校に通学する保護者の経済的負担の軽減を図る。非課税世帯、年2回(9・3月)	・前期分 49世帯、52人 支給額: 1,360千円
		①-5	ひとり親家庭の親と子の集い	子育て支援課	ひとり親家庭対象のバスハイク(市のバス2台)実施 ・日時: 5月17日(土) ・場所: 東山動植物園	・バスハイクを実施した。 日時: 5月17日(土) 場所: 東山動植物園・参加者: 47人の親子
		①-6	母子生活支援施設の広域入所	子育て支援課	・DV等で支援が必要な母子家庭を母子生活支援施設へ入所させる。	・該当者なし
		①-7	母子家庭等日常生活支援事業	子育て支援課	・ひとり親家庭の母親の就労等による託児支援をファミリー・サポート・センター会員が行う。	・ひとり親家庭の母親の就労等による託児支援をファミリー・サポート・センター会員が行った。利用2件。
		①-8	母子家庭自立支援事業	子育て支援課	・ヘルパー資格就業修了者や准看護師の修業者に給付を行う。 ・関係者と連携し就労支援や家庭支援を行う。	・ひとり親家庭の就労支援 高等技能訓練促進費利用者: 准看護師8人
		①-9	母子・寡婦福祉資金の貸付	子育て支援課	・ひとり親家庭の子どもが専門学校等に進学する際の修学資金等の長野県の貸付の受付を行う。	・受付件数 就学支度資金 1件、修学資金 1件
		②-1	障害福祉サービス	社会福祉課 子育て支援課	・障害児に対して地域で自立した生活ができるよう総合的な福祉サービスを提供する。利用可能なサービスは、ホームヘルプ事業、児童発達支援、放課後等デイサービス、短期入所、行動援護、重度訪問介護事業など。	・支援の必要な障害児141人へ必要な障害福祉サービスの支給決定を行いました。また、全員に福祉サービスの利用計画を作成しました。 主なサービス 児童発達支援 725件、放課後等デイサービス 856件 (月ごとの請求件数)
		②-2	タイムケア	社会福祉課	・障害児を家庭において一時的に介護できない場合、登録介護者(隣人や知人の登録も可)が時間単位で介護サービスを提供する。	・利用実績 登録者197人(障害児・者) 利用時間 10,807時間

基本 目標	基本 施策	施策 №	具体的な施策 (事業名)	担当課名	平成26年度の計画	平成26年度事業実績
					事業の具体的内容	事業の具体的内容
2		②-3	障害児(者)療育支援	社会福祉課 子育て支援課 学校教育課	・在宅障害児の生活支援のため、相談や療育指導が受けられるよう各種福祉サービスの提供や調整を行う。(相談受付、ケア会議など)	・計画相談支援事業 48件
		②-4	障害児福祉手当	社会福祉課	・20歳未満の在宅重度障害児に福祉手当を支給する。 月額支給額：14,330円	・支給実績 42人 延べ484件(月)の手当を支給しました。
		②-5	特別児童扶養手当	子育て支援課	・精神又は身体に障害のある満20歳未満の児童を監護する保護者に対する手当の申請受付事務等を行う。(県の委任事務)	・受給者：273人(昨年比2人減)
		②-6	補装具の交付	社会福祉課	・障害児の身体上の欠損又は機能の損傷を補うための補装具の購入や修理の費用を負担する。	補装具修理 67件 (電動車いす等) 補装具給付 87件 (車いす・頭部保護帽等) (数字は障害児・者合計)
		②-7	日常生活用具給付	社会福祉課	・在宅の重度障害児に対し、日常生活がより円滑に行われることを目的に、日常生活用具の購入費を給付する。(原則1割の自己負担)	・日常生活用具給付(一般)59件(頭部保護帽等) ・排泄管理支援用具 1,776件(紙おむつ、蓄尿蓄便袋) (数字は障害児・者合計)
		②-8	障害児保育	子育て支援課	・発達に支援を必要とする子どもを受け入れ、遊びや生活をする中で子どもの発達育成を図る。	・発達に支援を必要とする子どもを受け入れ、遊びや生活をする中で子どもの発達育成を図った。
		②-9	児童発達支援事業、療育相談	子育て支援課 学校教育課	・親子が通園し、生活や遊びを通して心身の発達に支援を必要とする子どもの発達育成を図る。 ・児童発達支援事業所として1日20人の児童と重症障害児5人を受け入れる。 ・伊那市子ども相談室で、様々な不安や悩みを抱える子どもが自立へ向けて生きていく力を培うための相談・支援を行う。	・子ども相談室での療育相談 H26年12月末：実人員119人、延べ人員693人

基本 目標	基本 施策	施策 №	具体的な施策 (事業名)	担当課名	平成26年度の計画	平成26年度事業実績
					事業の具体的な内容	事業の具体的な内容
子育て家庭を支援する仕組みづくり		②-10	あそびの教室	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な支援が必要と思われる子どもに対して集団遊びを行い発達を促すとともに、親に対して適切な育児支援を行う。 じゃんぷ・すてっぷ（2教室） 毎週2回 小グループ（たんぽぽ・どんぐり）月2回 	遊びの教室開催 じゃんぷ（22回・延べ415人） すてっぷ（22回・延べ338人） すてっぷミニ（7回・延べ62人）
		②-11	障害児教育の充実	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に気づき早期から支援が開始できるような支援体制を構築する。 ・発育発達支援個人票を作成し、乳幼児期から高校生まで適切な支援をつなぐ。 ・読み書きに困難のある児童の早期発見、対応を行なうシステムを構築する。 ・小中学校に特別支援教育コーディネーターを配置し、校内の支援体制の充実を図る。 ・小中学校へ特別支援教育支援員を配置し、必要に応じた個別支援を行う。 ・特別支援教育就学奨励費を支給し、特別支援教育の普及、奨励を図るとともに、経済的負担の軽減を図る。 ・副学籍による交流及び共同学習を進める（平成25年度から実施） ・ことばの教室に加え、新たに学習障害（LD）等児童通級指導教室を開設する。（平成26年度新規） 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援講師・介助員 27人 ・特別支援教育就学奨励費 小学生116人、中学生33人 4,519千円（見込み） ・副学籍児童生徒 66名
		②-12	ペアレントトレーニング (親の養育力を高める)	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健やかな成長と発育発達を支援するために、子どもへの上手なかかわり方を学習し、親の養育力を高めるトレーニングを行う。幼児から小学生までを4グループにわけ実施する。 	学童期の親17人に対して7回実施。 述べ119人参加
		②-13	ソーシャルスキル トレーニング(子どもの 社会性を高める)	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童デイサービス事業として小学生を対象にSST（社会生活技能訓練）を実施する。 ・特別支援学級入級の児童に対しては小学校で実施する。（特別支援学校、小学校5校、中学校1校で実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・4小学校で実施。それ以外の学校でも特別支援教育の中で取り組んでいるところもある。 ・放課後デイサービス事業として小鳩園にて高学年は10回、低学年は5回実施。1回の平均参加者数は6人。



|

